

## 診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院 薬剤部では、「回復期リハビリテーション病棟における脆弱性骨折高齢者の潜在的不適切処方（PIMs）とポリファーマシーが日常生活動作に与える影響」の研究に取り組んでいます。

### 研究の概要

骨量低下の背景と、わずかな衝撃で生じる脆弱性骨折は、要支援や要介護状態になる原因の1つとされています。骨折した状態では、以前のような生活を送るのは難しく、回復期リハビリテーション病棟でのリハビリが必要となります。

脳卒中の患者さんにおいて、薬をたくさん飲んでいる場合や高齢の方が注意したほうが良いとされる薬が多い場合、リハビリによる回復に悪影響を及ぼす可能性が報告されています。しかし、脆弱性骨折における報告はまだありません。そこで、脆弱性骨折の患者さんを対象として、飲んでいる薬がリハビリによる回復にどのように影響するかを調査することにしました。

### 対象となる方

熊本機能病院に入院し椎体骨折（頸椎骨折、胸椎骨折、腰椎骨折）、大腿骨近位部骨折（頸部骨折、大腿骨転子部骨折）、骨盤輪骨折（坐骨骨折、仙骨骨折、腸骨骨折、恥骨骨折）と診断された65歳以上の患者さんのうち、次の対象調査期間に退院された患者さんを対象としています。

### 対象調査期間

2022年10月1日～2024年2月29日

利用を開始する予定日

2024年4月19日

研究期間

研究実施許可日から2027年3月31日

利用する診療情報

入院目的、年齢、性別、身長、体重、ボディマス指数（BMI）、在院日数、持参薬情報、退院時服用薬情報、治療経過(検査値:血清クレアチニン値、クレアチンクリアランス値、推算糸球体濾過量 [eGFR]、AST、ALT、血清 Na 値、血清 K 値、血清 Ca 値、Alb 値)、入院時と退院時の機能的自立度評価法に基づく点数

※個人情報を特定できる情報は含みません

研究機関の名称：熊本機能病院

研究責任者氏名：杉山 留美子（薬剤部長、薬剤師）

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明

な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 薬剤部 薬剤師 棚町将之

T E L : 096-345-8111(内線 3258)、 F A X : 096-345-8188